

平成28年度
保健所年報

(平成27年度実績)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

総務企画課

TEL 0595-24-8070

健康増進課

TEL 0595-24-8045

地域保健課

TEL 0595-24-8076

衛生指導課

TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/index.htm>

〔Eメールアドレス〕 ghoken@pref.mie.jp

目 次

1 管内概況	
(1)伊賀保健所の概要	1
(2)相談等日程	2
(3)管内の状況	2
(4)人口動態統計	6
2 「みえ県民カビジョン」による事業実績	
I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～	
112 防災・減災	
11204(災害医療体制の整備)	10
1 災害拠点病院	
121 地域医療提供体制の確保	
12102(医療分野の人材確保)	
1 管内保健師設置状況	11
2 保健師等研修状況	11
3 看護学生等保健所実習指導	11
12103(救急医療等の確保)	
1 地域救急医療対策事業	12
2 救急告示病院	12
12104(医療安全体制の確保)	
1 医務	13
122 介護の基盤整備と人材育成・確保	
12201(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)	
1 介護保険制度	14
12203(介護基盤の整備促進)	
1 老人保健福祉施設等の設置状況	15
124 こころと身体健康対策の推進	
12401(健康づくり・生活習慣病予防活動の推進)	
1 健康づくり総合推進事業	16
2 健康食育推進事業	17
3 栄養施行事務事業	18
12403(こころの健康づくりの推進)	
1 こころの健康づくり事業	20
2 自殺予防対策	20
12404(難病対策の推進)	
1 原子爆弾被爆者対策事業	23
2 難病対策事業	24
3 難病在宅ケア事業	34
4 臓器移植啓発事業	38
5 ハンセン病啓発事業	38
6 骨髄バンク	38

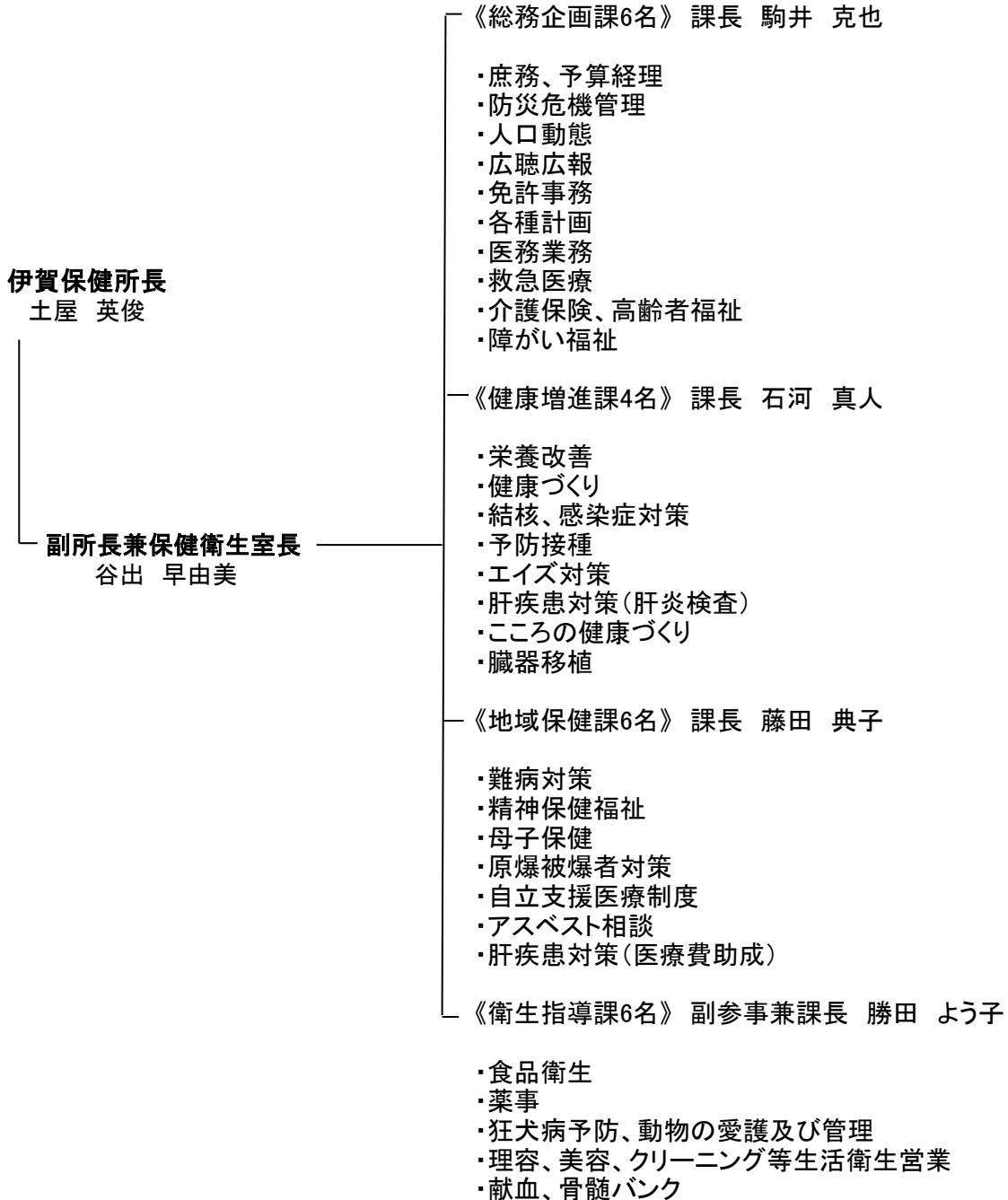
131	障がい者の自立と共生		
	13101(障がい者福祉サービスの充実)		
	1 障がい者福祉	……	39
	13105(精神障がい者の保健医療の確保)		
	1 精神保健福祉事業	……	41
132	支え合いの福祉社会づくり		
	13201(地域福祉活動の推進)		
	1 民生委員・児童委員	……	46
	13203(ユニバーサルデザインのまちづくりの推進)		
	1 おもいやり駐車場利用証制度	……	46
144	薬物乱用防止と動物愛護の推進等		
	14401(薬物乱用防止対策の推進)		
	1 薬物乱用防止対策	……	47
	14402(人と動物との共生環境づくり)		
	1 狂犬病予防法等施行事務	……	49
	2 動物愛護	……	49
	14403(医薬品等の安全な製造・供給の確保)		
	1 薬事	……	50
	2 献血推進	……	52
	14404(生活衛生営業の衛生水準の確保)		
	1 生活衛生	……	53
145	食の安全・安心の確保		
	14501(食品の安全・安心の確保)		
	1 食品衛生	……	54
146	感染症の予防と拡大防止対策の推進		
	14601(感染予防のための普及啓発の推進)		
	1 感染症の予防事業	……	56
	14603(感染症対策のための相談・検査の推進)		
	1 エイズ対策事業	……	57
	2 結核対策事業	……	58
II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～			
232	子育て支援策の推進		
	23203(切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実)		
	1 母子保健事業	……	63
	2 母体保護事業	……	64

* 事業実績は、次ページの「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系に沿ってまとめました。

1 管内概況

(1) 伊賀保健所の概要(平成28年度体制)

伊賀保健所組織及び所掌事務



(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日		精神保健相談(要予約) (最終週) 14:00~16:00	県 伊賀庁舎
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00~11:00		県 伊賀庁舎
水曜日			
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00~12:00		県 伊賀庁舎
	結核検診 (第2・4週)12:30~13:30		県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況
ア 各市の状況

種別 市	平成22年国勢調査		平成27年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積(km ²)	世帯数	総人口	人口密度(人/km ²)		
計	64,396	177,491	688.00	63,966	169,376	246.2	99.3%	95.4%
伊賀市	34,915	97,207	558.23	33,585	90,581	162.3	96.2%	93.2%
名張市	29,481	80,284	129.77	30,381	78,795	607.2	103.1%	98.1%

*資料:平成27年度国勢調査結果

イ 管内の概況

平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 6 市町村が合併し「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との 2 市体制となっています。

(ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の北西部、近畿圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高 500～800m の山々に囲まれ、総面積は 688.00k m²で、県土の約 12%にあたります。

山地が約 62%(421.37k m²)を占めますが、盆地内は標高 130～160m で、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、典型的な内陸盆地気候です。伊賀盆地の中央にある伊賀市の年平均気温が 14℃前後で、県内の観測所ではいちばん低くなっています。山地を除くと1月の平均気温は3℃で、県内では最も寒さの厳しい地域です。逆に夏の暑さは場所によっては40℃を超えた記録もあるように、夏と冬や朝と夕の温度差が大きい内陸型の気候の特徴を示しています。また、年間降水量は 1,300mm～1,500mm で県内で最も雨の少ない地域です。また年間を通じて盆地特有の放射霧が多く発生し、特に10～11月に発現率が高くなっています。

(イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成 27 年 10 月 1 日現在 169,184 人であり、県の総人口に占める割合は約 1 割です。

昭和 40 年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和 55 年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和 55 年以降の人口の増加が顕著です。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、伊賀地域の人口は平成 12 年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の 65 歳以上の老年人口は、平成 26 年 10 月現在 49,677 人で、総人口に占める割合は、29.0%に達し、全県の老年人口の比率 27.0%を上回っています。

(ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道 25 号(四日市市～大阪市)、国道 163 号(大阪市～津市)、国道 165 号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道 368 号(伊賀市～多気町)、国道 422 号(大津市～紀北町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ広域農道の伊賀コリドールロードが整備されました。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。

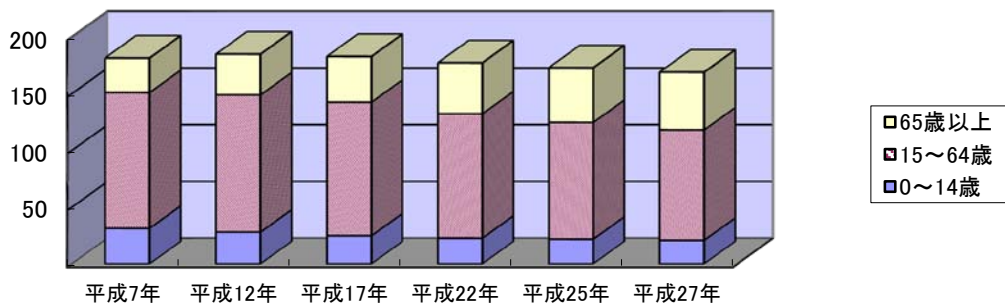


(エ) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年
計	181,348	184,818	182,779	177,491	169,376
伊賀市 (旧上野市)	60,986	61,493	100,623	97,207	90,581
名張市	79,913	83,291	82,156	80,284	78,795
伊賀市 (旧伊賀町)	11,154	11,019			
伊賀市 (旧島ヶ原村)	2,934	2,752			
伊賀市 (旧阿山町)	8,500	8,427			
伊賀市 (旧大山田村)	6,186	5,987			
伊賀市 (旧青山町)	11,675	11,849			

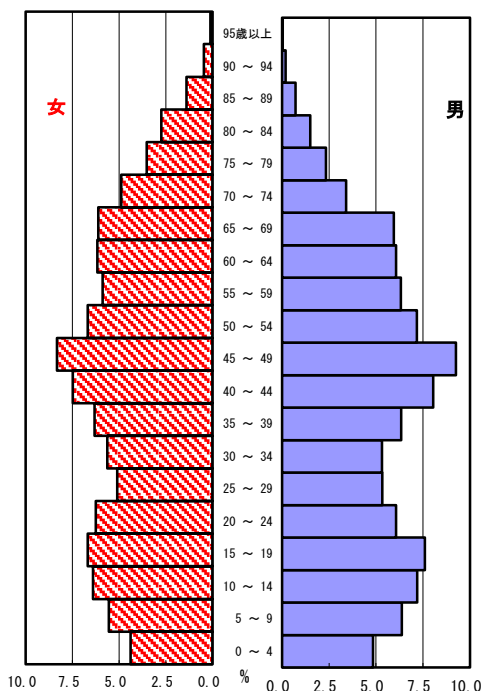
*資料: 国勢調査結果

3区分別割合の推移

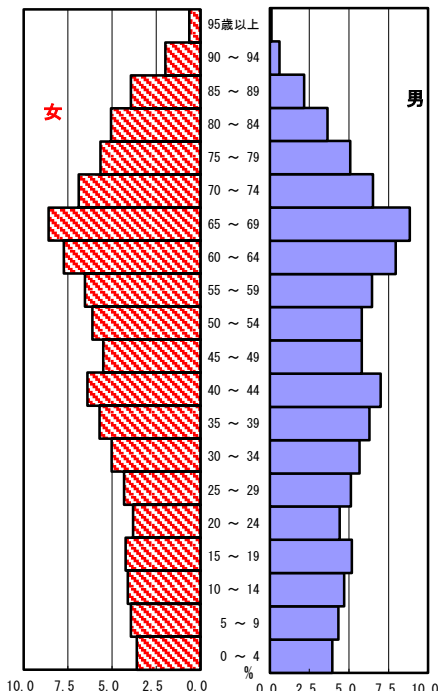


【管内の人口ピラミッド】

平成7年



平成27年



(オ) 管内市の人口構成(概数)

平成27年10月1日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～64 歳)	老年人口 (65歳以 上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
管内	169,376	20,821	97,280	50,752	7,743	8,475	4,603	4,963	25,784
伊賀市	90,581	10,763	51,131	28,668	3,917	4,448	2,398	2,672	13,435
名張市	78,795	10,058	46,149	22,084	3,826	4,027	2,205	2,291	12,349
三重県	1,815,865	233,525	1,061,577	501,046	86,133	95,439	51,953	54,697	288,222

*資料:平成27年度国勢調査結果

平成27年10月1日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢 人口(15 ～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	12.3	57.4	30.0	21.4	52.2	73.6	243.8
伊賀市	11.9	56.4	31.6	21.0	56.1	77.1	266.4
名張市	12.8	58.6	28.0	21.8	47.9	69.6	219.6
三重県	12.9	58.5	27.6	22.0	47.2	69.2	214.6

○年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0～14歳)}}{\text{生産年齢人口(15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

○特徴

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は30.0%となっている。伊賀市では31.6%と県全体の27.6%を上回っているが、名張市は28.0%で県全体とほぼ同じとなっている。

管内の年少人口指数については21.4と三重県の値22.0を下回っているが、老年人口指数52.2、老年化指数243.8と、いずれも県全体(老年人口指数47.2、老年化指数214.6)を上回っている。

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成26年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧(実数、率)各市別

平成26年1月1日～12月31日

	各市 (県・全 国)	人口	出生			低体重児(再掲)*1			死亡			乳児死亡(再掲)*2		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	127,083,000	1,003,539	515,533	488,006	95,768	43,434	52,334	1,273,004	660,334	612,670	2,080	1,110	970
	三重 県	1,820,491	13,727	7,033	6,694	1,330	594	736	19,525	9,921	9,604	27	11	16
	管内	171,538	1,206	594	612	106	48	58	1,944	980	964	1	0	1
	伊賀 市	92,905	610	305	305	59	28	31	1,177	587	590	1	0	1
	名張 市	78,633	596	289	307	47	20	27	767	393	374	0	0	0
率	全国		7.9	4.1	3.8	95.4	84.3	107.2	10.0	5.2	4.8	2.1	2.2	2.0
	三重 県		7.5	3.9	3.7	96.9	84.5	109.9	10.7	5.4	5.3	2.0	1.6	2.4
	管内		7.0	3.5	3.6	87.9	80.8	94.8	11.3	5.7	5.6	0.8	0.0	1.6
	伊賀 市		6.6	3.3	3.3	96.7	91.8	101.6	12.7	6.3	6.4	1.6	0.0	3.3
	名張 市		7.6	3.7	3.9	78.9	69.2	87.9	9.8	5.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	率の算出方法		人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子出 生千対	女子 出生 千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対

* 資料:健康福祉部健康福祉総務課、全国:総務省統計局(平成26年10月1日現在推計人口)

*1低体重児は出生体重2,500g未満 *2乳児死亡は生後1年未満の死亡。

平成26年1月1日～12月31日

	各市(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	952	23,524	10,905	12,619	3,750	3,039	711	643,749	222,107	△ 269,465	
	三重県	15	308	157	151	60	49	11	8,555	3,098	△ 5,798	
	管内	1	23	10	13	2	1	1	750	308	△ 738	
	伊賀市	1	16	7	9	2	1	1	397	136	△ 567	
	名張市	-	7	3	4	-	-	-	353	172	△ 171	
率	全国	0.9	22.9	10.6	12.3	3.7	3	0.7	5.1	1.77	△ 2.1	1.42
	三重県	1.1	21.9	11.2	10.8	4.4	3.6	0.8	4.8	1.73	△ 3.2	1.45
	管内	0.8	18.7	8.1	10.6	1.7	0.8	0.8	4.4	1.8	△ 4.3	1.41
	伊賀市	1.6	25.6	11.2	14.4	3.3	1.6	1.6	4.3	1.46	△ 6.1	1.37
	名張市	-	11.6	5	6.6	-	-	-	4.5	2.19	△ 2.2	1.45
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

*資料: 三重県健康福祉部健康福祉総務課

- ・△は減を示す。
- ・新生児死亡は生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
- ・死産は妊娠12週以後の死児の出産。
- ・自然増加は出生数－死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \sum_{\text{年齢}15}^{49} \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

- (ア) 出生
管内の出生数は前年より104人減少し、出生率は7.0であった。市別にみると、名張市は県の値7.5を0.1ポイント上回っているが、伊賀市は0.9ポイント下回っている。
- (イ) 死亡
管内の死亡数は1,944人で前年より17人減少し、死亡率は11.3で前年と同様である。市別にみると、名張市は県の値を0.9ポイント下回っているが、伊賀市は県の値を2.0ポイント上回っている。
- (ウ) 乳児死亡
乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年より4人減少し、新生児死亡数も前年より1人減少した。
- (エ) 死産
管内の死産数は前年より6人減の23人であった。
人工死産率は10.6で三重県の値を0.2ポイント下回っている。自然死産率は8.1で県の値を3.1ポイント下回っている
- (オ) 周産期死亡
母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年同様2人、周産期死亡率は1.7で昨年の値を0.2ポイント上回っている。
- (カ) 婚姻と離婚
婚姻件数は750件で前年より64件減少している。婚姻率は4.4で県の値を0.4ポイント下回っている。
離婚件数は308件で前年より23件減少した。離婚率は1.8で県の値を0.07ポイント上回っている。
- (キ) 自然増加
管内の自然増加率は-4.3で県の値-3.2を1.1ポイント下回っている。
- (ク) 合計特殊出生率
管内の合計特殊出生率は1.41で昨年より0.06ポイント下回っている。伊賀市は1.37で昨年の0.02ポイント下回り、名張市は1.45で昨年の0.11ポイント下回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 各市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成26年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	101.5	84.5	93.7	100.0	112.5	99.9	102.3	113.2	91.8	98.1	42.6	76.1	107.3	144.7	120.4	88.8
	死亡者数	19,525	27	5,172	206	119	2,986	1,772	281	1,678	242	10	177	405	1,678	704	310
管内	死亡率	99.3	91.7	96.3	124.4	109.9	93.2	98.5	87.2	79.3	95.4	41.8	68.7	103.3	183.6	103.7	80.8
	死亡者数	1,944	3	537	26	12	285	174	22	149	24	1	16	40	223	61	27
伊賀市	死亡率	98.5	49.0	90.3	71.5	159.8	101.0	100.0	84.9	91.9	89.4	67.2	82.8	107.2	179.3	102.1	93.3
	死亡者数	1,177	1	296	9	11	191	109	13	109	14	1	11	26	142	36	17
名張市	死亡率	100.4	162.7	104.7	204.4	24.8	80.6	96.0	90.9	57.8	105.4	-	50.0	96.7	191.7	106.0	65.8
	死亡者数	767	2	241	17	1	94	65	9	40	10	-	5	14	81	25	10

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

∞

表3 各市別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成26年1月1日～12月31日

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	359.60	0.37	113.95	3.81	1.57	50.87	29.75	5.45	23.85	3.60	0.13	4.60	5.83	16.78	16.52	15.69
管内	344.10	0.33	116.53	5.50	1.39	49.41	27.09	3.21	19.44	2.99	0.08	3.74	5.22	22.50	11.99	16.00
伊賀市	344.75	0.25	110.84	4.32	2.11	54.37	28.38	3.85	23.04	2.55	0.13	4.87	5.17	22.63	12.70	17.82
名張市	345.28	0.49	124.46	7.55	0.24	42.46	25.83	2.70	13.80	3.66	-	2.46	5.25	22.48	11.57	13.72

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\{\text{観察集団の年齢 } x \text{ 歳(年齢階級)の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢 } x \text{ 歳(年齢階級)の人口}\} \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口:昭和60年モデル人口の使用

表4 市別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成26年1月1日～12月31日(単位:人)

各市名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S 状結腸 移行部 及び直腸	肝及び 肝内胆 管	胆のう 及び その他 の胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血 病	その 他
三重県	計	5,172	153	676	462	187	374	248	488	1,107	156	83	122	1,116
	男	3,166	131	440	234	119	243	116	285	824	-	-	72	702
	女	2,006	22	236	228	68	131	132	203	283	156	83	50	414
管内	計	537	19	73	34	26	55	26	47	104	19	12	12	110
	男	328	15	57	19	16	29	13	25	72	-	-	9	73
	女	209	4	16	15	10	26	13	22	32	19	12	3	37
伊賀市	計	296	13	41	19	13	31	15	25	56	10	8	6	59
	男	181	9	36	11	9	18	6	12	38	-	-	4	38
	女	115	4	5	8	4	13	9	13	18	10	8	2	21
名張市	計	241	6	32	15	13	24	11	22	48	9	4	6	51
	男	147	6	21	8	7	11	7	13	34	-	-	5	35
	女	94	-	11	7	6	13	4	9	14	9	4	1	16

*資料: 三重県健康福祉部健康福祉総務課

○ 特徴

管内の死因順位では、第一位悪性新生物537人(総数に占める割合27.6%)、第二位心疾患285人(同様に14.7%)、第三位老衰223人(同様に11.5%)である。これら3大死因の総数に占める割合は53.8%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内344.10であり、主な死因別では悪性新生物、糖尿病、老衰、自殺がそれぞれ県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「肝及び肝内胆管」「気管・気管支及び肺」で43.2%を占めている。

I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

112 防災・減災対策を進める体制づくり

11204 災害医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 災害発生時には、災害医療コーディネーターと連携を図り、「三重県災害医療対応マニュアル」に基づいて迅速に対応します。
- 2 災害発生時に、医療機関及び医薬品等関係機関の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品・衛生材料の調達・分配を行います。
- 3 災害拠点病院との連携をはかります。

1 災害拠点病院

大規模な災害時に備えるため、災害拠点病院を指定しています。

(1) 伊賀地域災害拠点病院

平成 28 年 4 月 1 日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24-1111	24-2268
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西1 番町 178 番地	61-1100	64-7999

121 地域医療提供体制の確保

12102 医療分野の人材確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 専門技術研修会への参加及び市保健師等地域保健関係者の資質向上を図るための会議及び研修会を行っています。
- 2 管理栄養士・看護師及び保健師を目指す学生に対して、保健所実習を通じて地域における栄養・看護活動の展開について臨地学習指導をおこなっています。

1 管内保健師設置状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

	総数	保健所	伊賀市	名張市
設置人員	47	9	21	17

2 保健師等研修状況

(1)管内保健師研修会等の開催

・管内保健師研修会

日 時 平成 28 年 2 月 27 日(土) 13 時～16 時 30 分

講 演 「災害時の保健師活動について

～ケースメソッドにより災害時に果たす役割について検討する」

講 師 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部(併)生涯健康研究部

公衆衛生看護研修領域 上席主任研究官 奥田 博子 氏

参加者 伊賀管内保健師 34 名

・管内統括保健師会議

保健師の人材育成体制での現状と課題整理、対応策の検討等を実施。

12 回/年開催 参加者 管内統括保健師 延べ 59 人

(2)保健師技術研修への参加

・新任期二次、三次研修会および幹部管理者研修会等への参加 延べ6回、16人

・人材育成会議および業務検討会議への参加 延べ8回、20人



3 看護学生等保健所実習指導

	所 属 名	実習期間(日)	人員(名)
看護学科学生	三重県立看護大学看護学科	4	14
	三重大学医学部看護学科	5	11
管理栄養士学生	畿央大学健康栄養学科	5	3
	近畿大学農学部食品栄養学科	5	2

12103 救急医療等の確保

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
- 2 救急告示医療機関との連携をはかります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域では、両市の応急診療所による一次救急医療体制と併せて2市3病院による二次救急医療体制がとられている。

しかしながら、病院における医師不足は依然つづいており、二次救急医療体制は大変厳しい状況に置かれている。

一方、救急搬送体制の整備・強化を図るため、伊賀地域メディカルコントロール部会(協議会)において救急措置活動の Protokol 作成や救急搬送事例の事後検証を行うとともに、救急救命士の再教育についても検討した。

(1) 伊賀地域メディカルコントロール部会(協議会)

- ア 開催回数:1回
- イ 開催場所: 県伊賀庁舎
- ウ 出席者数:11名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を考慮して認定する。

(1) 伊賀地域救急告示病院

平成 28 年 4 月 1 日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24-1111	24-2268
社会医療法人畿内会 岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町 1734	21-3135	21-5237
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西 1 番町 178	61-1100	64-7999

12104 医療安全体制の確保

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域医療提供体制の整備をはかるため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供する「かかりつけ医」の推進をはかります。

1 医務

管内における医療施設の状況は次のとおり。

(1) 施設数

平成 28 年 4 月 1 日 現在

区分	市名		
	総数	伊賀市	名張市
病院	6	4	2
一般診療所	138	74	64
歯科診療所	67	32	35
助産所	3	1	2
施術所	117	60	57

(2) 病床数(病院)

平成 28 年 4 月 1 日現在

	病 院						病床率 (人口 10 万対)
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	病院
伊賀市	1,078	410	0	0	628	40	1200.3
名張市	335	0	0	0	255	80	427.6
管内計	1,413	410	0	0	883	120	840.3

* 人口については三重県戦略企画部統計課(平成 28 年 4 月 1 日現在推計人口)

122 介護の基盤整備と人材の育成・確保

12201 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 介護サービス提供事業者に対し、新規・変更・更新指定申請時に必要な指導、助言を行い、介護サービスの質の確保に努めます。

1 介護保険制度

(1) 実施主体数 2保険者(伊賀市・名張市)

(2) 要介護認定者の状況 平成28年3月31日現在

保険者	要介護認定者数(人)							
	合計	要支援		要介護				
		1	2	1	2	3	4	5
伊賀市	6,170	769	756	1,428	1,090	836	771	520
名張市	3,716	277	550	623	805	624	500	337
合計	9,886	1,046	1,306	2,051	1,895	1,460	1,271	857

(3) 介護度別居宅介護サービス受給者数 平成28年3月31日現在

保険者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
伊賀市	364	501	1,052	812	504	309	163	3,705
名張市	104	308	429	593	351	217	137	2,139
合計	468	809	1,481	1,405	855	526	300	5,844

(4) 施設種類別サービス受給者数 平成28年3月31日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
伊賀市	758	382	25	1165
名張市	419	196	27	642
合計	1,177	578	52	1,807

(5) 指定居宅・施設介護支援事業所数 平成28年4月1日現在

種別	事業者数	
	伊賀市	名張市
訪問介護	29	16
訪問入浴介護	3	1
居宅介護支援	31	19

種 別	事業者数	
	伊賀市	名張市
訪問看護	7	8
通所介護	25	15
通所リハビリテーション	6	4
短期入所生活介護	15	7
福祉用具貸与	6	3
特定福祉用具販売	6	3
特定施設入所者生活介護	4	4
指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	15	8
介護老人保健施設(老人保健施設)	4	3
介護療養型医療施設(療養型病床群)	-	1
介護予防訪問介護	29	16
介護予防訪問入浴介護	3	1
介護予防訪問看護	6	8
介護予防通所介護	43	27
介護予防通所リハビリテーション	5	4
介護予防短期入所生活介護	12	7
介護予防福祉用具貸与	6	3
介護予防特定福祉用具販売	6	3
介護予防特定施設入所者生活介護	2	4

12203 介護基盤の整備促進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1 「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(第6期三重県介護保険事業支援計画・第7次三重県高齢者福祉計画)に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、老人保健福祉施設の整備を進めます。

1 老人保健福祉施設等の設置状況

平成28年4月1日現在(単位:施設数(定員))

	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	養護老人 ホーム	有料老人 ホーム	ケア ハウス
伊賀市	15(779)	4(450)	0	3(170)	1(50)	1(50)
名張市	8(450)	3(228)	1(40)	1(50)	3(91)	3(80)
計	23(1,229)	7(678)	1(40)	4(220)	4(141)	4(130)

※有料老人ホームについては、県に設置の届け出があるもののみ計上

124 こころと身体 の健康対策の推進

12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

- 1 質の高い健康文化を築き、住民がいいきと生活できる「健康長寿地域・伊賀」を目指して、健康づくり活動の協働体制に向けた働きかけを積極的に行っていきます。
- 2 市をはじめ、企業、団体等と協働して、食生活、たばこ、運動、こころの健康づくり、歯科保健対策等生活習慣の改善に向けて、県民の健康づくりを支援します。
- 3 野菜摂取量の増加と朝食習慣の定着と朝食における野菜の摂取を推進し、県民が健康的な食生活が実践できるよう支援します。
- 4 給食施設指導を充実し、県民が適正な食生活を営む力をつけることを支援します。
- 5 みえの食生活指針・食事バランスガイドの普及啓発を広く県民に行うとともに、多様な主体と協働した食環境づくりを推進します。

1 健康づくり総合推進事業

地域や企業、関係団体及び関係機関が集い情報交換をおこなうとともに、専門的な知識や情報の共有を通して地域の健康課題の解決を図るため懇話会等を開催した。

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会

日 時	場 所	委員出席者数	内 容
平成 27 年 9 月 3 日	県伊賀庁舎 中会議室	16 名	① 情報提供 ・三重県における自殺の現状と対策、こころのケアガイドブックについて ・労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック制度の導入について 提供者 伊賀労働基準監督署 安全専門官 ② 意見交換 ・健康づくり事業の取組について

(2) 研修会

日 時	場 所	参加者数	内 容
平成 27 年 12 月 4 日	県伊賀庁舎 大会議室	59 名	講演「食品のうま味と減塩について ～無理なく減塩しよう～」 講師:特定非営利法人うまみインフォメーションセンター 理事 二宮 くみ子 氏

(3) 情報交換会

日 時	場 所	参加者数	内 容
平成 28 年 2 月 4 日	県伊賀庁舎 中会議室	8 名	①講演「ストレスチェック制度とは」 ②情報交換「各事業所におけるストレスチェック制度の取組実施状況について」 講師:三重県産業保健センター メンタルヘルス対策促進員・産業保健相談員 河合加代子氏

2 健康食育推進事業

(1) 野菜フル 350 推進事業

県民が健康的な食生活が実践できるように 1 日の野菜摂取量の目標量を 350g(食事バランスガイドで副菜 5 つ)として野菜摂取の増加を推進する。同時に、健康的な朝食習慣の定着化を図るため朝食における野菜摂取量の目標量を 70g(食事バランスガイドで副菜 1 つ)を推進するためにセミナー、啓発を実施した。

ア セミナー

開催日等	開催場所	対象団体	人数	内容
平成 27 年 11 月 17 日	県伊賀庁舎 栄養指導室	食品衛生協会 調理師部会	15 名	講義「野菜・果物の魅力と健康の関わり ～知らないで食べるより知って食べる～」 デモンストレーション 「バランスよく食べましょう ～1 日 350g を目指して～」 講師 シニア野菜ソムリエ 中澤 真紀 氏

イ 協働啓発活動

開催日	イベント名	対象者	人数	実施場所
平成 27 年 10 月 5 日	COOPみえ 2015 商品・ くらしの活動交流会	COOP会員	92 名	上野フレックスホテル
平成 27 年 10 月 12 日	名張市体育・健康フェスタ	地域住民	150 名	名張市総合体育館

(2) 健康づくり応援の店

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店を「健康づくり応援の店」として登録し、県民の健康づくりを支援する。

平成 28 年 3 月 31 日現在 13 店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言等を行った。

ア 給食施設従事者研修会

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成 27 年 12 月 4 日	県伊賀庁舎 大会議室	管内給食施設従事者	59 名	講演「食品のうま味と減塩について ～無理なく減塩しよう～」 情報交換

イ 特定給食施設等巡回指導

	巡回指導施設数	備考
特定給食施設	14	指定施設 2 を含む
一般給食施設	17	
計	31	

(2) 栄養表示指導

食品表示法に基づく食品表示基準(保健事項)、健康増進法第 31 条の 1 に基づく虚偽誇大広告の禁止に関する相談や指導・助言を行った。

内容	対象者	件数
栄養成分表示、虚偽誇大広告相談・指導	事業者等	17 件

(3) 人材育成・支援

地域で活動する市民団体や食に関係する職域の専門職種、食育関係者等に対して研修や情報発信等を行うことにより、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行った。

ア 地区組織育成・支援

食生活改善推進員の育成に対する支援、組織活動に対する育成・支援を行った。

種別	対象者	内容	回数
総会・研修会	伊賀市食生活改善推進員	研修会等運営支援及び災害時の栄養・食生活支援活動について	1 回
リーダー研修会	伊賀地区食生活改善推進員	実習献立指導及び情報提供 等	9 回
木の芽会研修	木の芽会会員	実習献立指導及び緊急時に備えた家庭用食料品備蓄について 等	5 回

イ 専門職種への支援

	内容	実施回数
市栄養士	・研修会	3回
	・管理栄養士臨地実習について助言・協働	1回
	・食生活改善推進員養成講座支援	3回
地域活動栄養士	・研修会 ・栄養・健康づくりに関する情報提供及び 啓発媒体等の提供	3回 随時

(4) 栄養相談・指導

健康増進法第18条に基づく栄養相談・指導を実施した。

	個別指導延べ人数			集団指導延べ人数	
	栄養指導	(再掲) 病態別	(再掲) 訪問による	栄養指導	(再掲) 病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳以上	1	1	0	144	118

(5) 国民健康・栄養調査

該当なし



フェアリーベジ(野菜の妖精)があなたの食生活を応援します！

12403 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発をはかり、関係機関と連携をはかりながら共に支えあい安心して生活できる地域づくりを目指します。
- 2 市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進をはかります。

1 こころの健康づくり事業

(1) こころの健康づくりに関する啓発

企業のイベント及び市が開催する健康まつりに参加し、保健所ブースでこころの健康づくりに関する啓発を実施した。

開催日	平成 27 年 10 月 12 日	平成 27 年 10 月 5 日
場 所	名張市総合体育館	上野フレックスホテル
内 容	パネル展示、各種パンフレット・啓発グッズ配布	
来場者	約 150 名	92 名

2 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行い、地域での自殺予防対策の取り組みについて説明した。

(1) 自殺予防に関する啓発事業

- ア 管内課長会議でこころの健康づくり、自殺予防対策について説明
 - イ 管内保健師業務連絡会議で県の自殺予防対策の取り組みについて説明
- 市民への自殺予防の啓発

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間の啓発
- ・庁舎内で「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」にのぼりを立て、啓発グッズを配布
- ・伊賀保健所HPに関連記事を掲載
- ・街頭啓発

	日時	場所	内容
自殺予防週間	平成 27 年 9 月 11 日 7:30~8:30	伊賀鉄道上野市駅周辺	「自殺予防週間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
	平成 27 年 9 月 10 日 7:30~8:30	近鉄名張駅周辺	
自殺対策強化月間	平成 28 年 3 月 1 日 11:30~	アピタ伊賀上野店	「自殺対策強化月間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
	平成 28 年 2 月 29 日 11:45~	アピタ名張店	
		マックスバリュ名張店	

(2) 人材育成

メンタルパートナー養成

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人、悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人を養成する。

研修内容		参加者数
メンタルパートナー指導者養成研修		1名
メンタルパートナー養成研修(伊賀管内)		235名
メンタルパートナー養成研修 開催主体別	伊賀市	170名
	名張市	17名
	伊賀保健所	48名
	その他	0名

(3) 地域自殺・うつ対策ネットワーク

質の高い健康文化を築き、住民がいいきと生活できる長寿地域・伊賀を目指して、いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会を設置しており、こころの健康づくり・自殺対策を推進していく。

いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会(自殺対策ネットワーク会議)開催状況

開催日	内容	参加者
H27. 7. 10 (木) 15:00～	第1回懇話会 委員紹介 (情報提供) 「三重県における自殺の現状と対策、こころのケアガイドブックについて」 こころ健康センター課長代理 中井 芳 氏 「労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック制度の導入について」 伊賀労働基準監督署安全専門官 平田幸弘 氏 健康に関する最近の話題 (意見交換) 健康づくり事業の取組について	懇話会委員 16名 保健所等職員 5名 情報提供者 1名 計 22名
H28. 2. 4 (木) 14:00～	第2回いがの国健康づくり地域・職域情報交換会 (講演)「ストレスチェック制度とは」 講師：三重産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 産業保健相談員 河合加代子 氏 (情報交換) 「各事業所におけるストレスチェック制度の取組実施状況について」	地域・職域健康づくり 担当者 12名

(4) 自殺未遂者支援モデル事業

救急医療機関に搬送された自殺未遂者に対し、様々な機関が連携した適切な支援を図ることにより、自殺再企図を防止する支援体制づくりを平成27年度からモデル的に取り組んでいます

ア 保健所の役割

・三重県健康づくり課が開催する「未遂者支援検討会」に参加し、事業開始に向けた保健所の現状等情報提供や課題の抽出等を行う。

・救急医療機関から連絡を受けた伊賀保健所は、地域におけるケースの支援方針の検討及びコンサルテーションを行うため、必要に応じてケースへの面接を行い、関係機関・団体等と密接な連携を図る。ケースの支援方針の検討及びコンサルテーションを行う場合は、ケア会議とし伊賀保健所が企画開催する。また、支援結果等についてもケア会議等で情報共有する。

・自殺対策情報センターが、企画実施する関係機関職員のスキル向上のための研修会等に参加する。

・自殺未遂者支援モデル事業の検証を行うため、「未遂者支援検討会」に参加し、モデル事業の継続・中止又は他地域への拡大について検討を行う。

イ 救急医療機関から連絡を受けた件数 2 件

(5) その他

ア 精神保健相談(毎月第4水曜日) 相談件数: 19 件(実人数 19 件)

イ 自殺・うつ関係相談(随時)面接相談 2 件(実人員 1 件)

電話相談 5 件(実人員 5 件)

ウ 関係機関との連絡調整

① 管内保健福祉課・室長会議で自殺予防対策について説明(H27.5.21)

② 伊賀管内保健師業務連絡会、自殺予防週間、自殺対策強化月間における情報交換で事業実施を調整

12404 難病対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課・衛生指導課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族の QOL(生活の質)の向上をはかります。
- 3 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。
- 4 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給した。

(1) 被爆者健康手帳所持者 48人 平成28年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	14	34

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 18人 (うち要精検者数 0人)

第2回 15人 (うち要精検者数 3人)

イ がん検診受診者数

平成27年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	3	2	1	1	1	2
要精検者数	0	0	0	0	0	1

(3) 各種手当受給状況

平成28年3月31日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	2	41	0	1	0	1	3

2 難病対策事業

(1) 難病法に基づく特定医療費の支給事業

平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が施行され、平成27年7月1日からは指定難病が306に拡大され、認定基準を満たした申請者に特定医療費(指定難病)受給者証を交付した。

特定医療費(指定難病)受給者数

平成27年度(平成28年3月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	球脊髄性筋萎縮症	1	0	1
2	筋萎縮性側索硬化症	9	7	16
3	脊髄性筋萎縮症	0	0	0
4	原発性側索硬化症	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	9	9	18
6	パーキンソン病	87	135	222
7	大脳皮質基底核変性症	7	9	16
8	ハンチントン病	1	0	1
9	神経有棘赤血球症	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	1	1
11	重症筋無力症	10	19	29
12	先天性筋無力症候群	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	7	21	28
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	2	4
15	封入体筋炎	1	0	1
16	クローウ・深瀬症候群	0	1	1
17	多系統萎縮症	13	6	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	15	16	31
19	ライソゾーム病	1	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0
21	ミトコンドリア病	0	1	1
22	もやもや病	4	24	28
23	プリオン病	0	4	4
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	1	1
27	特発性基底核石灰化症	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	5	7	12
29	ウルリッヒ病	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
30	遠位型ミオパチー	0	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0
34	神経線維腫症	5	1	6
35	天疱瘡	5	4	9
36	表皮水疱症	0	0	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	1	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	1	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0
40	高安動脈炎	1	9	10
41	巨細胞性動脈炎	0	0	0
42	結節性多発動脈炎	1	4	5
43	顕微鏡的多発血管炎	8	8	16
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	2	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	1
46	悪性関節リウマチ	0	4	4
47	バージャー病	10	1	11
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	0	0
49	全身性エリテマトーデス	14	66	80
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	15	23	38
51	全身性強皮症	9	66	75
52	混合性結合組織病	0	14	14
53	シェーグレン症候群	0	19	19
54	成人スチル病	0	1	1
55	再発性多発軟骨炎	2	0	2
56	ベーチェット病	13	9	22
57	特発性拡張型心筋症	47	12	59
58	肥大型心筋症	7	6	13
59	拘束型心筋症	0	0	0
60	再生不良性貧血	8	8	16
61	自己免疫性溶血性貧血	0	0	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	14	34	48
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	1
65	原発性免疫不全症候群	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
66	IgA腎症	6	9	15
67	多発性嚢胞腎	3	3	6
68	黄色靱帯骨化症	4	3	7
69	後縦靱帯骨化症	32	18	50
70	広範脊柱管狭窄症	9	6	15
71	特発性大腿骨頭壊死症	10	5	15
72	下垂体性ADH分泌異常症	2	1	3
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	4	5	9
75	クッシング病	0	2	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5	6	11
78	下垂体前葉機能低下症	14	7	21
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	0	0
82	先天性副腎低形成症	0	0	0
83	アジソン病	0	0	0
84	サルコイドーシス	11	16	27
85	特発性間質性肺炎	6	5	11
86	肺動脈性肺高血圧症	2	6	8
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	6	8
89	リンパ脈管筋腫症	0	1	1
90	網膜色素変性症	14	22	36
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	1	1
93	原発性胆汁性肝硬変	6	31	37
94	原発性硬化性胆管炎	0	0	0
95	自己免疫性肝炎	1	1	2
96	クローン病	29	18	47
97	潰瘍性大腸炎	111	98	209
98	好酸球性消化管疾患	0	0	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0
103	CFC症候群	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0	0	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0
111	先天性ミオパチー	0	0	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0
113	筋ジストロフィー	1	2	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0
117	脊髄空洞症	0	0	0
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0
126	ペリー症候群	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	0	0	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
137	限局性皮質異形成	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0
145	ウエスト症候群	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0
158	結節性硬化症	0	0	0
159	色素性乾皮症	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1	0	1
163	特発性後天性全身性無汗症	0	0	0
164	眼皮膚白皮症	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0
167	マルファン症候群	0	1	1
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0
171	ウィルソン病	0	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
173	VATER 症候群	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0
180	ATR-X症候群	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0
188	多脾症候群	0	1	1
189	無脾症候群	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0
199	5p 欠失症候群	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0
206	脆弱 X 症候群	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0
208	修正大血管転位症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
209	完全大血管転位症	0	0	0
210	単心室症	0	0	0
211	左心低形成症候群	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0
215	ファロー四徴症	0	1	1
216	両大血管右室起始症	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	3	0	3
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0
224	紫斑病性腎炎	0	0	0
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	1	1
227	オスラー病	0	0	0
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0
241	高チロシン血症 1 型	0	0	0
242	高チロシン血症 2 型	0	0	0
243	高チロシン血症 3 型	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
245	プロピオン酸血症	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0	0	0
249	グルタル酸血症 1 型	0	0	0
250	グルタル酸血症 2 型	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0
264	無 β リポタンパク血症	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0
266	家族性地中海熱	0	0	0
267	高IgD症候群	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0
271	強直性脊椎炎	1	0	1
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	0	0	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0
285	ファンconi貧血	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0
288	自己免疫性出血病 XIII	0	0	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0
296	胆道閉鎖症	0	0	0
297	アラジール症候群	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0
300	IgG4関連疾患	0	1	1
301	黄斑ジストロフィー	0	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0
303	アッシャー症候群	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	3	6	9
総計		615	839	1,454

(2) 特定疾患治療研究事業

難病法の施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされていた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象となる指定難病以外の疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。

特定疾患医療受給者数

平成27年度(平成28年3月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	スモン	0	2	2
2	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
3	重症急性膵炎	0	0	0
4	プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0	0	0
5	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
総計		0	2	2

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された 11 疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

疾患名		受給者証交付件数
1	第Ⅰ因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第Ⅱ因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第Ⅴ因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第Ⅶ因子(安定因子)欠乏症	0
5	第Ⅷ因子欠乏症(血友病A)	2
6	第Ⅸ因子欠乏症(血友病B)	1
7	第Ⅹ因子(スチュアートプラウア因子)欠乏症	0
8	第ⅩⅢ因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第ⅩⅠ因子(PTA)欠乏症	0
11	第ⅩⅡ因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

(4) 肝炎治療特別促進事業

B 型、C 型ウィルス性肝炎インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療の医療費を助成することで、早期治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウィルスの感染防止をする。

公費負担医療受給状況:平成 27 年度中

B 型肝炎 88 件(新規 13 件、更新 75 件)

C 型肝炎 166 件(インターフェロンフリー治療 163 件、インターフェロン治療 3 件)

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施した。

(1) 難病地域ケア会議（実務者）

在宅難病患者を取り巻く関係者がネットワークを構築することにより、包括的な支援が提供できるようケア会議への参加を行った。

ALS：筋萎縮性側索硬化症

開催年月日 病名・場所	参加者	検討内容
H27. 4. 8 ALS (自宅)	ケアマネジャー、訪問看護師、作業療法士、福祉用具業者、家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 4. 30 ALS (自宅)	ケアマネジャー、作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 5. 13 ALS (自宅)	訪問看護師、本人・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 5. 22 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 5. 28 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、呼び出しベルの導入
H27. 6. 10 ALS (自宅)	患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 8. 13 ALS (自宅)	ケアマネジャー、本人・家族、保健所保健師	家族の介護負担軽減、レスパイト入院について

H27. 9. 3 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、使用上の問題点について検討
H27. 10. 29 ALS (自宅)	訪問看護師、理学療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 10. 29 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、呼び出しベルの導入
H28. 1. 26 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有

(2) 個別ケアの充実

ア 電話相談・面接相談

申請時手続きの来所者などを対象に面接を実施し、患者家族からの在宅療養上の相談に対応した。必要な人に対して電話相談、面接相談、訪問などを実施するとともに、関係機関につなげた。また特定医療費申請手続き等に関する相談に対応した。

イ 家庭訪問

ALS 患者の全数把握や家族、その他関係機関から依頼のあったケースを中心に家庭訪問を実施し、関係機関と連携して課題の改善のための支援を行った。

疾患別家庭訪問実施状況

疾患名	訪問件数
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	実6件／延11件
合計	実6件／延11件

(3) 訪問療養相談

療養上の相談を受けることが困難な在宅療養患者及び家族に対し、療養生活が適切に行われるよう、管理栄養士による専門的な栄養相談を実施した。

訪問療養相談実施状況

開催月日	平成27年11月26日 (木)	平成28年3月16日 (水)
対象者	ALSの患者と家族	ALSの患者と家族
スタッフ	管理栄養士・保健師	言語聴覚士・作業療法士・訪問看護師・ケアマネジャー・保健師

(4) 事例検討・研修会等

管内の関係機関・支援者が個別ケアについて情報共有を行うため、また患者を取り巻く関係者のネットワーク化をはかるために事例検討（支援会議）及び研修会を実施した。

ア 事例検討（支援会議）

開催年月日 病名・場所	参加者	検討内容
H27. 4. 10 ALS (病院)	ケアマネジャー、訪問看護師、理学療法士、医師、看護師長、受け持ち看護師、相談員、家族、保健所保健師	情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 5. 27 ALS (病院)	ケアマネジャー、医師、看護師長、受け持ち看護師、相談員、本人・家族、保健所保健師	手術の経過確認、情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 8. 14 ALS (病院)	訪問看護師、医師、受け持ち看護師、患者・家族、市保健師、保健所保健師	手術の経過確認、情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 9. 4 ALS (病院)	訪問看護師、ケアマネジャー、本人・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 9. 7 ALS (病院)	医師、看護師、家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 12. 18 ALS (病院)	訪問看護師、ケアマネジャー、医師、看護師長、受け持ち看護師、家族、保健所保健師	入院中の経過確認、情報交換、療養生活上の問題点、今後のサポート体制の統一

イ 研修会

月 日 場 所	内 容	参 加 者
H28.2.2 県伊賀庁舎 大会議室	講演 テーマ：難病患者のより良い在宅生活を支援するために 講義・演習「いま話題の食支援について」 講師 いが地域栄養ネットワーク代表 千歳泰子 氏	72人 伊賀管内のケアマネジ ャー、訪問看護師、ヘル パー、介護施設職員など 在宅支援関係者

(5) その他

ALS の患者家族から、同じ疾患の患者や家族から話を聞きたいとの要望があり、患者会や難病相談支援センターの紹介を行った。

4 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っている。

(1) 臓器提供意思表示カード配布窓口業務

伊賀保健所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行った。

5 ハンセン病啓発事業

ハンセン病について正しい知識と理解を持ち、偏見や差別のない、人権が尊重される社会を実現するための啓発を目的として、ホームページにおいて「ハンセン病問題を正しく理解しましょう」を掲載した。

街頭啓発等

実施日	内 容	来場者
平成 27 年 8 月 20 日	伊賀市みんなで元気まるごと！応援フェスタにて ハンセン病人権啓発コーナーの設置	233 名

6 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第 2 木曜日に登録受付を実施し、1 名の登録があった。

(2) 臨時ドナー登録受付の実施

管内 6ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果、26 名の登録があった。

131 障がい者の自立と共生

13101 障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1 障がい者および家族が、安心して地域生活をおくるための居宅介護などの訪問系サービス、生活介護等の日中活動系サービスを適切に利用できるよう、相談支援体制の充実やサービス提供基盤の整備促進を行います。

1 障がい福祉

障害福祉サービス事業者に対し、新規・変更等指定申請時に、必要な指導、助言を行った。

障害者総合支援法の適正な運用のため、各市や関係機関との調整を行うための圏域障がい福祉連絡協議会を計3回開催した。

(1) 身体障害(児)者手帳所持者の状況

平成28年4月1日現在

種別		視覚障害	聴覚障害	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計
伊賀市	児	3	6	0	33	10	52
	者	332	497	53	2,742	1,173	4,797
	小計	335	503	53	2,775	1,183	4,849
名張市	児	3	5	0	44	12	64
	者	176	320	41	1,834	857	3,228
	小計	179	325	41	1,878	869	3,292
管内計	児	6	11	0	77	22	116
	者	508	817	94	4,576	2,030	8,025
	計	514	828	94	4,653	2,052	8,141

(2) 療育手帳所持者の状況

平成28年4月1日現在

	A(最重度・重度)			B(中度・軽度)			合計		
	児	者	小計	児	者	小計	児	者	合計
伊賀市	47	267	314	114	336	450	161	603	764
名張市	49	226	275	125	292	417	174	518	692
計	96	493	589	239	628	867	335	1,121	1,456

(3) 管内の障がい福祉施設(居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護事業所を除く)

ア 障害福祉サービス事業所

平成 28 年 7 月 1 日 現在

サービスの種類	市名	件数	定員
生活介護	伊賀市	7	79
	名張市	8	168
放課後等デイ	伊賀市	4	40
	名張市	3	40
保育所等訪問	伊賀市	-	-
	名張市	1	-
児童発達支援	伊賀市	2	20
	名張市	1	16
短期入所	伊賀市	4	9
	名張市	7	34
就労移行支援	伊賀市	4	24
	名張市	1	12
就労継続支援A型	伊賀市	5	80
	名張市	1	10
就労継続支援B型	伊賀市	17	273
	名張市	8	173
自立(生活)訓練	伊賀市	1	10
	名張市	1	6
共同生活援助	伊賀市	25	173
	名張市	28	255
施設入所支援	伊賀市	1	20
	名張市	3	135
福祉型障害児入所施設	伊賀市	-	-
	名張市	1	30
一般相談支援	伊賀市	1	-
	名張市	2	-
特定相談支援	伊賀市	6	-
	名張市	4	-
障害児相談支援	伊賀市	3	-
	名張市	2	-

イ その他の福祉施設

平成 28 年 4 月 1 日 現在

施設の種類	施設等の名称	所在地	定員
点字図書館	上野点字図書館	伊賀市	-
盲人ホーム	伊賀市盲人ホーム	伊賀市	20 (通所)

13105 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市および関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の療養、社会復帰等に対する相談、指導、援助を行います。
- 3 精神障がい者の地域生活をサポートするためのネットワークづくりを行います。
- 4 地域住民に精神障がいに対する正しい知識の普及啓発を行います。

1 精神保健福祉事業

(1) 精神保健医療対策

ア 精神保健措置事業

目的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷、他害の行為を防ぐ。

(ア) 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況 平成 27 年度

区 分	小計	法 29 条該当		法 29 条非 該当	診察不要
		措置入院者数	緊急措置入院者数 (内措置入院となつ たもの)		
計	15	1	3(3)	8	3
法 22 条申請	0	0	0	0	0
法 23 条通報	15	1	3(3)	8	3

* 法第 22 条申請(診察及び保護の申請) * 法第 23 条通報(警察官の通報)

(イ) 取扱措置入院患者数 平成 27 年度

	計	男	女
第 29 条措置新規	4	3	1
第 29 条措置解除	3	2	1
第 29 条措置在院者数	1	1	0

イ 自立支援医療(精神通院医療)

目的 精神疾患の治療のために通院されている方を対象に医療費の自己負担を軽減する。

自立支援医療費(精神通院)受給者証の有効期間 : 1 年間

(ア) 市別受給者証所持者数 平成 28 年 3 月 31 日現在

市町名	発行件数
伊賀市	1,343
名張市	1,287
計	2,630

(2) 精神障害者地域生活支援事業

ア 精神障害者保健福祉手帳交付

目的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図る。

精神障害者保健福祉手帳の有効期間 : 2 年間

(ア) 市別等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数 平成 28 年 3 月 31 日現在

		伊賀市	名張市	計
障害 等級	1	63	71	134
	2	380	413	793
	3	127	196	323
計		570	680	1,250

イ 精神保健相談及び保健師の相談

目的 一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療につなげるとともに、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促す。

(ア) 相談件数

相談の区分	精神保健相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	毎月第 4 水曜日 14:00~17:00	随時	随時	随時
相談延件数	19	48	41	274

ウ 知識の普及と啓発

目的 地域住民に対して、精神障がいの正しい知識を普及啓発するとともに、精神障がい者の地域における身近な支援者を育成する。

(ア) 地域交流会

a 対象:管内精神障害者通所施設・家族会・ボランティア等

開催日:平成 27 年 10 月 16 日(金)

場 所:伊賀市青山北部公園体育館

内 容:伊賀圏域精神障がい者地域交流会(室内ゲーム大会) 参加者:51 名

b 対象:関係機関等

開催日:平成 27 年 7 月 31 日(木)(参加機関:6 機関)

場 所:伊賀庁舎

内 容:地域交流会打ち合わせ会議

エ 精神障がい者支援体制の整備

(ア) 伊賀地域精神保健福祉連絡協議会

目的 精神障がい者の地域における生活の支援及び社会参加の促進を図るため、関係機関の連携を強化し、地域ケアの充実について検討する。

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 28 年 3 月 23 日	精神保健福祉法に係る保健所業務について 34 条移送の事例を通じて関係機関との連携について 検討	伊賀庁舎	関係機関 職員 13 名

(イ) 伊賀圏域障がい福祉連絡協議会「精神障がい者地域移行部会」

目的 伊賀圏域の自立支援協議会(精神部会)の情報交換、共通課題の検討を実施し、地域移行支援事業の取組の推進を図る

参加者 精神障がい者家族会、伊賀市障がい福祉課、名張市高齢・障害支援室、地域移行支援事業委託事業所、上野病院、保健所

取組体制 「精神障がい者地域移行部会」の運営会議として「コア会議」を置き、そのもとに3つのワーキング部会(地域移行・社会調査・ピアサポート検討)を設置

<取組内容>

コア会議について

ワーキング部会の情報を基に、「精神障がい者地域移行部会」の進捗についての検討

3つのワーキング部会について

「地域移行ワーキング部会」・・・地域への啓発、地域資源見学バスツアーの実施

「社会調査ワーキング部会」・・・地域移行における課題抽出と調査、地域資源見学バスツアーの実効調査

「ピアサポート検討ワーキング部会」・・・ピアサポーターの育成、研修会の実施

「精神障がい者地域移行部会」

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 27 年 5 月 19 日	各ワーキング部会からの報告と計画調整	伊賀庁舎	18 名
平成 27 年 8 月 6 日	各ワーキング部会からの進捗状況報告と意見交換 平成 27 年度予算の確認 研修企画について検討	伊賀庁舎	17 名

平成 27 年 11 月 10 日	各ワーキング部会からの進捗状況報告と意見交換 今後の予定について検討	伊賀庁舎	15 名
平成 28 年 2 月 9 日	各ワーキング部会からの進捗状況報告と意見交換 ピアサポーターの活動について検討 次年度の計画検討	伊賀庁舎	13 名

*「コア会議」3 回、「地域移行ワーキング部会」11 回、「社会調査ワーキング部会」5 回・「ピアサポート検討ワーキング部会」10 回開催。

* 部会の取り組み内容

研修会の開催

・ 日 時:平成 27 年 8 月 25 日(火)

場 所:三重県伊賀庁舎

対象者:地域移行部会関係機関の支援者等

内 容:講演「地域移行支援支援に係るピアサポーターの役割と期待」

講 師:三重県健康福祉部障害福祉課 牧戸 貞 班長

参加者: 20 名

・ 日 時:平成 27 年 11 月 12 日(木)

場 所:三重県立名張桔梗丘高等学校

対象者:「ヒューマンライツ風」

内 容:精神障がい者の理解と予防啓発出前講座

講 師:三重県こころの医療センター

ユース・メンタルサポートセンター 山本 綾子 技師

参加者: 学生 13 名

・ 日 時:平成 27 年 12 月 11 日(金)

場 所:三重県伊賀庁舎

対象者:伊賀圏域の当事者および関係者

内 容:講演「地域移行支援支援に係るピアサポーターの役割」

講 師:NPO法人ソーシャルハウスさかい 当事者講師派遣事業出前はあと 近島 勇 氏

参加者: 43 名

・ 日 時:平成 28 年 3 月 21 日(月・祝日)

場 所:三重県伊賀庁舎

対象者:関係機関職員等

内 容:講演「意思決定支援研修」及びパネルディスカッション

講 師及び助言者:大阪府立大学 人間社会学部 准教授 三田 優子 氏

福島県被災地における障がい福祉サービス基盤事業

アドバイザー派遣事業事務局 総括コーディネーター 山田 優 氏

参加者:174 名

・日 時:平成 28 年 3 月 27 日(日)

場 所:伊賀市上野総合市民病院

対象者:伊賀管内看護協会関係者、伊賀圏域地域移行関係機関職員等

内 容:平成 27 年度精神疾患患者の退院及び地域定着支援のための基盤整備事業

地域定着支援のための勉強会として、伊賀圏域の地域移行関係者 6 名から話題提供と情報交換

実施機関:公益社団法人 三重県看護協会

参加者:24 名

(ウ) 関係機関の支援

目的 市及び関係職員の精神障がいに対する知識と理解を深め、地域における精神保健福祉サービスの充実を図る。

- | | |
|----------------------|----------------|
| a 伊賀市相談事案調整会議等への参加 | 12 回 |
| b 名張市精神保健福祉関係職員連絡会 | 8 回 |
| c 名張市共生デザイン会議相談部会勉強会 | 話題提供者として参加 1 回 |

132 支え合いの福祉社会づくり

13201 地域福祉活動の推進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 住民の身近なところでの相談・支援体制を整備するため、民生委員の適正な配置と活動を支援します。

1 民生委員・児童委員

(1) 民生委員・児童委員の定数

平成 28 年 3 月 31 日現在

市名	委員定数[うち主任児童委員]
伊賀市	300[28]
名張市	182[16]
計	482[44]

13203 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 平成 24 年 10 月から開始された「三重おもいやり駐車場利用証制度」に基づき、障がい者等からの申請により利用証を交付します。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」とは、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などさまざまな施設に「おもいやり駐車場」を設置するとともに、必要な方に「おもいやり駐車場」の利用証を交付する制度です。

1 おもいやり駐車場利用証制度

(1) 利用証交付数

平成 28 年 3 月 31 日現在

	交付数	区分別交付数							
		身体障がい	知的障がい	精神障がい	要介護高齢者等	難病患者	妊産婦	けが人	その他
管内	2,759	1,816	64	6	280	55	374	11	153

144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等

14401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
- 2 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭における啓発活動等を実施します。
- 3 伊賀保健所内に覚醒剤等相談窓口を設置し、地域住民からの覚醒剤等に関する相談に応じます。

1 薬物乱用防止対策

覚醒剤、麻薬、大麻、シンナーなどの薬物乱用は本人の心身に害を及ぼすことはもちろんのこと、凶悪犯罪を誘発するなど社会的、経済的にも計り知れない害悪を及ぼす。

そのため、県民に、薬物乱用の危害等薬物に関する情報を提供し、乱用防止の重要性についての啓発活動を実施した。

(1) 不正大麻・けし撲滅運動

ア 目的 不正大麻・けし撲滅運動期間中に大麻・けしの不正栽培の防止及び野性的大麻・けしを一掃するため、発見除去等に努める。

イ 実施年月日 平成27年4月1日～6月30日

ウ 除去本数 けし 3ヶ所 372本

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

ア 目的 覚醒剤等の薬物乱用は青少年をはじめとして広く県民に広がっている。そのため、青少年を主とし県民に薬物の恐ろしさ、乱用防止の大切さを強く訴え、乱用撲滅への意識の高揚を図った。また、薬物依存者等を支援するため、薬物関連の相談窓口等の充実を図った。

イ 実施内容等

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

年月日	実施場所	対象人員	実施内容
平成27年6月27日	伊賀市 アピタ伊賀上野店	1,000	リーフレット・救急絆創膏・ポケットティッシュ等の啓発資材の配布
平成27年6月27日	名張市 イオン名張店	1,000	

(3) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動

年月日	実施場所	実施内容	対象人数
H27.10.10	名張市総合福祉センターふれあい	街頭キャンペーンにて啓発資材の配布と呼びかけ	500
H27.10.12	HOS 名張アリーナ	街頭キャンペーンにて啓発資材の配布と呼びかけ	300
H27.10.25	伊賀市銀座通り	「上野天神祭り」にて啓発資材の配布と呼びかけ	50,000
H27.11.2	県伊賀庁舎	理容師美容師講習会にて啓発資材の配布	120
H27.11.4 ～11.30	県伊賀庁舎	条例啓発ポスターの掲示及び啓発資材の配布	1,000
H27.11.6 ～11.11	イオン名張店	薬物乱用防止ポスター入賞作品展示及び条例啓発ポスター掲示	1,000
H27.11.7	伊賀市立崇広中学校	「第7回崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタ」にて啓発資材の配布と呼びかけ	1,800
H27.11.9 ～11.30	各薬局	条例啓発ポスターの掲示及び啓発資材の配布	10,000
H27.11.13	原出公民館	「ミニ集会」にてDVDによる薬物乱用防止の意識学習	50
H27.11.14	名張市役所	「とれたて！なばり」にて啓発資材の配布と呼びかけ	100
H27.11.21	伊賀市立長田小学校	「よっといでまつり」にて啓発資材の配布と呼びかけ	500

(4) 薬物乱用防止講習

年月日	実施場所	対象	参加人数
H27.4.9	社会医療法人畿内会 岡波総合病院	三重県病院薬剤師会 伊賀名張地区病院薬剤師会	13
H27.4.18	阿山保健福祉センター	伊賀更生保護女性の会阿山支部	126
H27.6.18	青山公民館	青山青少年育成会議	32

14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1 狂犬病予防法等施行事務

- (1) 野犬等の捕獲、抑留を行い、狂犬病予防と犬による危害発生の防止を図ります。
- (2) 三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼い犬の適正飼養の啓発事業を実施します。

2 動物愛護管理推進事業

- (1) 「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「三重県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、第一種動物取扱業の登録、特定動物による県民への危害発生の防止、犬猫の引取りを行います。
- (2) 動物愛護精神の高揚や適正飼養の普及啓発、小学生等を対象とした出前教室(「犬との接し方教室」や「動物愛護教室」)を開催します。

1 狂犬病予防法等施行事務

狂犬病予防法に基づく、犬の登録や狂犬病予防注射接種率の向上のため市と連携して、リーフレットを配布するなどの啓発活動を行った。

2 動物愛護

- (1) 動物の愛護及び管理に関する法律等に基づき、犬猫の適正飼育の指導、飼えなくなった犬猫の引き取りを行った。

●平成 27 年度犬・猫収容数、咬傷事故発生件数等

犬			猫			犬による咬傷 事故届出
抑留・収容数	返還頭数	処分頭数(※)	抑留・収容数	返還頭数	処分頭数(※)	
58 頭	18 頭	40 頭	150 匹	0 匹	150 匹	8 件

※処分頭数＝殺処分数＋譲渡数

- (2) 第一種動物取扱業による動物の適正な取扱いの推進のため、飼養施設の監視指導を行った。

●第一種動物取扱業の登録状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

第一種動物取扱業 総業者数	第一種動物取扱業登録業種別内訳					業種別内訳計
	販売	保管	貸出し	訓練	展示	
86	55	37	3	10	5	110

- (3) 動物愛護精神の高揚や適正飼養を推進するため、広報媒体を活用するなど普及啓発を行った。また、小学生等を対象とした出前教室(「犬との接し方教室」や「動物愛護教室」)を7回開催した。

14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下、「医薬品医療機器等法」という。)、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、医薬品販売等施設に対する監視指導を実施します。
- 2 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進をはかり県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づきこれらの薬品の製造、流通、消費に至るまで保健衛生上の見地から監視指導を実施した。

- (1) 医薬品等の品質、有効性、安全性の確保
医薬品医療機器等法に基づき、医薬品、医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、製造業者、販売業者の監視指導を実施した。
- (2) 毒物劇物による危害防止
 - ア 毒物劇物取扱状況実態調査を行うとともに、毒物劇物取扱者に対し監視指導を強化し、保管管理の徹底を図った。
 - イ 警察、消防機関と共同して毒物劇物運搬車両の路上取締りを実施した。
- (3) 麻薬等の取扱・管理の適正化
麻薬及び向精神薬取締法に基づき、麻薬等の販売業者や麻薬診療施設を立入調査した。

管内薬事関係施設数(平成 28 年 3 月 31 日現在)及び平成 27 年度立入検査数

医薬品営業関係施設

		施設数	立入検査延数	
医薬品	薬局	70	34	
	薬局製造販売医薬品製造業	5	1	
	薬局製造販売医薬品製造販売業	5	1	
	卸売販売業	15	8	
	特例販売業	2	1	
	店舗販売業	35	14	
医療機器	販売業	高度管理医療機器	63	23
		管理医療機器	517	63
合 計		712	145	

毒物劇物営業関係

		施設数	監視数
製造業		12	11
輸入業		3	3
販売業	一般	59	21
	農薬用品目	32	12
	特定品目	3	0
特定毒物研究者		3	2
合 計		112	49

麻薬取扱関係

		施設数	監視数
麻薬卸売業者		1	1
麻薬小売業者		56	21
麻薬診療施設	病院	6	8
	診療所	50	2
	家畜診療所	10	3
合 計		123	35

2 献血推進

医療に必要な血液製剤をすべて自国の献血で確保する体制を早期に確立するため、献血思想の普及及び献血組織の充実に努めた。特に輸血の安全性を向上させる 400ml 献血及び成分献血への理解と協力を図っている。

また、少子高齢化の進行により献血可能人口の減少が避けられないなか、将来の献血事業を担う若年層に対し、献血思想の普及啓発を推進した。管内高校及び高等専門学校を訪問し、献血の啓発とヤングミドナサポーター事業への協力を依頼した。

その結果、5 校からヤングミドナサポーターとして計 54 名の登録があった。

* ヤングミドナサポーター：高校生等を対象とした献血ボランティア

(1) 献血ページェント実施状況

実施日	実施場所	献血者数
平成 27 年 7 月 8 日	イオン名張店	41 名
平成 27 年 7 月 14 日	アピタ伊賀上野店	36 名
平成 27 年 10 月 17 日	アピタ伊賀上野店	51 名
平成 27 年 11 月 14 日	名張市役所	48 名
平成 28 年 1 月 24 日	アピタ伊賀上野店	69 名
平成 28 年 2 月 17 日	イオン名張店	32 名

(2) 市別献血状況

平成 27 年度実績

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	計
伊賀市	1,654	0	0	1,654
名張市	599	0	0	599
伊賀管内	2,253	0	0	2,253
三重県	34,340	151	19,068	53,559

14404 生活衛生営業の衛生確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
- 2 理容・美容所等の立入調査や旅館の監視指導を行っていきます。
- 3 公衆浴場、旅館業等の関係施設に対し、レジオネラ症発生防止のため、自主管理の徹底をはかるよう監視指導を重点的に実施します。

1 生活衛生

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、興行場等日常生活に密着した営業施設に対して生活衛生水準の維持向上を図るため、施設の監視指導を行なうとともに従業員に対して衛生講習を実施した。

(1) 市別生活衛生関係営業施設・調査監視数

平成 28 年 3 月 31 日現在

業種		市	伊賀市	名張市	管内総数	平成 27 年度 調査監視件数
理容所			109	74	183	19
美容所			166	158	324	32
クリーニング所	工場		14	13	27	3
	取次所		90	78	168	0
旅館			52	31	83	20
公衆浴場			28	9	37	14
興行場			6	1	7	1
合 計			465	364	829	89

(2) 理容所・美容所従事者衛生講習

実施年月日	会 場	受講者数
平成 27 年 11 月 2 日	伊賀庁舎大会議室	理・美容師
		120 名
平成 27 年 10 月 26 日	名張市商工会議所	理・美容師
		87 名

145 食の安全・安心の確保

14501 食の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 食品の製造・加工から消費にいたる一貫した監視指導などを行うことにより、食の安全・安心の確保の構築をめざします。
- 2 食の安全・安心を確保するため、残留農薬や食品添加物、重篤な健康被害を引き起こすアレルギー物質、食中毒菌等の検査を実施します。

1 食品衛生

食品による危害の発生を防止するため、食品営業許可施設等に対する監視指導を実施するとともに、流通食品等を収去検査した。

また、食品等事業者に対し、食品衛生講習を行うとともに、食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行った。

(1) 食品営業許可施設等の監視指導結果

平成 27 年度三重県食品監視指導計画に基づき、食中毒発生時のリスク、取り扱う食品の流通の広域性、製造量などを評価し 3 ランクに分類し、ランクごとに監視頻度を定め、食品衛生法に基づく施設基準や食品の衛生的な取扱いを中心とした監視を実施した。

区分			監視実施件数	監視率(%)
Aランク施設	対象施設数	128	294	114.8
(年2回以上監視)	監視件数	256		
Bランク施設	対象施設数	154	207	134.4
(年1回以上監視)	監視件数	154		
Cランク施設	対象施設数	3,401	973	142.9
(5年に1回監視)	監視件数	681		
計	対象施設数	3,683	1,474	135.1
	監視件数	1,091		

(2) 食品衛生に関する講習会実施結果

食品事業者等を対象とした食品衛生に関する講習会を 45 回開催し、1,571 名が受講した。

(3) 食品衛生月間における街頭啓発の実施

厚生労働省は、毎年 8 月を食品衛生月間と定め、全国的に食品衛生思想の普及・啓発を推進しているが、この食品衛生月間時に食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行った。

*平成 27 年 8 月 3 日 イオン名張店

*平成 27 年 8 月 4 日 Aコープ青山

*平成 27 年 8 月 6 日 イオン伊賀上野店

内容 食中毒予防リーフレット等啓発資材の配布
手洗い実験

(4) 調理師・製菓衛生師試験受験状況

平成 27 年度

区分	申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数 (人)	合格率(%)
調理師 試験	62	54	36	66.7
製菓衛生師 試験	85	83	47	56.6

146 感染症の予防と拡大防止対策の推進

14601 感染予防のための普及啓発の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

感染症の予防対策と防疫対策の推進を図り、患者発生防止に努めた。

(1) 感染症発生状況(結核を除く)

平成 27 年度

分類	疾患名	届出件数
一類感染症	—	0
二類感染症	—	0
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5
四類感染症	レジオネラ症	3
五類感染症	アメーバ赤痢	3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4
	急性脳炎	1
	後天性免疫不全症候群	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1

(2) 検疫通報 通報件数 0 件

(3) 行政検査実施状況

平成 27 年度

疾患名	件数
腸管出血性大腸菌感染症	26
感染性胃腸炎	9

(4) 感染症病原体検査 検査件数 10 件

(5) 感染予防教育実施状況

実施日	内容	参加者
平成 27 年 4 月 6 日	社会福祉施設における感染症対策	社会福祉法人 伊賀市社会事業協会 梨ノ木新任職員 11 名
平成 27 年 10 月 1 日	感染症について	社会福祉法人 名張育成会職員 26 名
平成 27 年 10 月 22 日	感染症の発生状況と予防方法	社会福祉法人 洗心福祉会職員 43 名
平成 27 年 11 月 20 日	ノロウイルスの発生予防と発生後の対応	社会福祉法人 福寿会職員 17 名
平成 27 年 11 月 30 日	ノロウイルスの発生予防と発生後の対応	社会福祉法人 福寿会職員 27 名
平成 27 年 12 月 4 日	ノロウイルスの発生予防と発生後の対応	社会福祉法人 福寿会職員 22 名

14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1 新型インフルエンザや中東呼吸器症候群(MERS)等、発生すると社会的影響の大きい感染症に備え、関係機関との訓練を行い、防疫体制の強化を図ります。

1 伊賀地域インフルエンザ情報伝達訓練の実施

(1)目的

政府が実施する平成27年度新型インフルエンザ等対策訓練において、都道府県への連絡訓練が含まれており、三重県においても政府からの情報を受けて、関係機関(県関係部局、保健所、市町、指定地方公共機関、帰国者・接触者外来協力医療機関)への伝達訓練を実施しました。

伊賀保健所では、三重県からの情報を受けて伊賀地域健康危機管理ネットワーク会議の各機関で情報を共有するとともに、新型インフルエンザが発生した場合の対応について、各機関が役割を再認識し情報共有を図りました。

(2)日時

平成27年11月27日(金) 11:30～

(3)参加機関(16機関)

伊賀地域防災総合事務所・伊賀保健所、伊賀市立上野総合市民病院、社会医療法人畿内会岡波総合病院、名張市立病院、伊賀医師会、伊賀歯科医師会、伊賀市健康推進課、名張市健康支援室、伊賀市学校教育課、名張市学務管理室、老人福祉施設協会伊賀支部、伊賀警察署警備課、名張警察署警備課、伊賀市消防本部防救急課、名張市消防本部消防救急室

(4)実施内容

伊賀保健所が、三重県からの「新型インフルエンザ A(H7N9)緊急事態宣言」発表の情報を受けて、訓練参加各機関に「健康危機管理情報提供票」をFaxし、情報を受けた各機関は、各機関での対策(予定含む)状況を「情報票」に記入し伊賀保健所にFaxする。

情報を受けた伊賀保健所は、各関係機関の対策状況を一覧表にまとめ、対策状況一覧表は、所内及び伊賀地域防災総合事務所で情報共有した。

14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 エイズをはじめとする性感染症のまん延を防止するため、知識の普及啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健康診断を実施し、まん延を防止します。

1 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び検査を実施した。

(1) 相談、検査状況

平成 27 年度

	男	女	計
エイズ相談件数	5	0	5
エイズ検査件数	26	13	39

(2) 普及啓発状況

エイズを含めた性感染症の予防と、患者及び感染者に対する差別や偏見の解消を図る事を目的に普及啓発を実施した。

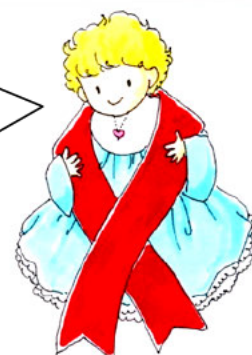
実施日	内 容	対象者
平成 27 年 8 月 29 日	伊賀市みんなで元気まるごと！応援フェスタにてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 233 名
平成 27 年 10 月 5 日	コープみえ商品・くらしの活動交流会にてエイズ啓発を実施	来場者 92 名
平成 27 年 10 月 12 日	名張市体育・健康フェスタにてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 150 名
平成 27 年 12 月 1 日	世界エイズデー街頭キャンペーンの実施	住民 800 名
平成 27 年 11 月 30 日～12 月 4 日	伊賀庁舎にて世界エイズデー啓発コーナーの設置	来庁者 300 名
平成 28 年 2 月 4 日	いがの国健康づくり地域・職域情報交換会にてエイズ情報を提供	事業所等 8 名

(3) 特定感染症検査

平成 27 年度

	男	女	計
梅毒検査件数	22	11	33
B型肝炎検査件数	28	11	39
C型肝炎検査件数	26	11	37

レッドリボンは、
H I V感染者・エ
イズ患者への理解
と支援の意思を表
すシンボルです。



(4) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

委託件数 16 件

2 結核対策事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 登録及び登録除外の状況(潜在性結核感染症含む)

平成27年中

	H26 年末現在 登録数	年内登録			年内登録除外			H27 年末現在 登録数
		新規	転入	計	除外	転出	計	
管内 計	87	30	2	32	48	2	50	69
伊賀市	46	19	2	21	31	2	33	34
名張市	41	11	0	11	17	0	17	35

イ 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成27年中

病型別 年齢区 分	活動性結核															(別掲) 潜在性 結核感染症		
	計			肺結核活動性										肺外結核				
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他				活動性				
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女			
計	23	11	12	14	6	8	1	1	0	1	1	0	7	3	4	7	0	7
0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0
30~39	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
40~49	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
50~59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
60~69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
70~	18	7	11	13	5	8	1	1	0	0	0	0	4	1	3	0	0	0

ウ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成 27 年 12 月 31 日現在

区分	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性(登録時)			肺外結核 活動性			
			計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽 性				
計		46	10	9	0	1	8	21	7
入院		10	6	5	0	1	4	0	0
うち 37 条適用		2	2	0	0	0	0	0	
在宅医療		8	4	4	0	0	4	0	0
医療なし		28	0	0	0	0	0	21	7
医療状況不明		0	0	0	0	0	0	0	0

エ 市別結核登録患者の状況

平成 27 年 12 月 31 日現在

市町別	病型別	計	活動性結核				不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性(登録時)			肺外結核 活動性		
			喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他			
管内 計		46	9	0	1	8	21	7
伊賀市		25	6	0	1	5	8	5
名張市		21	3	0	0	3	13	2

オ 市別結核新登録患者の状況

平成 27 年中

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	罹患率 (10 万対)	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性(登録時)			肺外結核 活動性			
			計	喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性				
管内 計		23	16	14	1	1	7	13.6	7
伊賀市		15	11	10	0	1	4	16.6	4
名張市		8	5	4	1	0	3	10.2	3

(2) 結核検診実施状況

平成 27 年度

対象別	項目	予防接種			胸部エックス線撮影		喀痰 検査 者数	ツベルク リン検査	QFT 検査	結核患 者発見 者数
		対象者数	BCG接 種者数	接種率	対象者数	受診者数				
定期	計	1,294	1,252	96.8%	49,099	18,476	-	/	/	-
	事業者	/	/	/	6,617	6,556	-	/	/	-
	学校長	/	/	/	1,583	1,582	-	/	/	-
	施設の長	/	/	/	1,694	1,585	-	/	/	-
	市町長	1,294	1,252	96.8%	39,205	8,753	-	/	/	-
定期外	計	/	-	/	/	77	-	3	76	-
	患者家族等	/	-	/	/	45	-	3	76	-
	患者管理	/	-	/	/	32	-	-	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成 27 年度

市町別	項目	住民健診 対象者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 発見 数(G)	(G) / (D) %
						受診人員			(D) / (A) %		
						間接撮影 数	直接撮影 数	計(D)			
計	39,205	1,294	1,252	96.8	4,149	4,604	8,753	22.3	-	-	
伊賀市	29,011	668	656	98.2	4,149	76	4,225	14.6	-	-	
名張市	10,194	626	596	95.2	0	4,528	4,528	44.4	-	-	

(4) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成 27 年 4 月 1 日現在

氏 名	役 職 名
坂井 隆	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター 名誉院長
猪木 達	社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 院長
町支 素子	医療法人まちし会 まちクリニック 院長
山本 政三	元上野市社会福祉協議会常務理事
國富 静代	人権擁護委員

(5) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第 2、4 週の木曜日 午後 12 時 30 分から午後 13 時 受付

(6) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第 37 条申請診査件数

平成 27 年中

区分	申請別	計	新規申請 (法 20 条第 1 項)	継続申請 (法 20 条第 4 項)	解除
申請件数		45	14	31	13
承認件数		45	14	31	13

イ 感染症法第 37 条の 2 申請診査件数

平成 27 年中

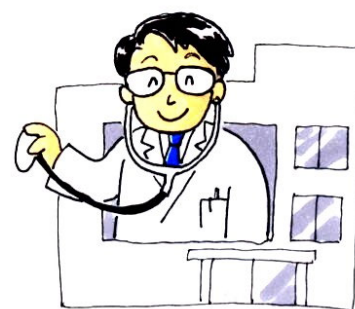
区分	保険別	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
			本人	家族				
申請件数		33	4	3	5	21	0	0
承認件数		33	4	3	5	21	0	0

(7) 結核統計

罹患数・率、有病数・率

平成 27 年

市別		計	伊賀市	名張市
* 人口 (H26.10.1 現在)		169,184	90,377	78,807
罹患率	総数	23	15	8
	率(10 万対)	13.6	16.6	7.6
有病率	総数	69	34	35
	率(10 万対)	40.86	37.6	44.4



* 資料: 三重県戦略企画部統計課推計人口

(8) 結核対策特別促進事業

ア 目的

入院中は院内 DOTS により確実に服薬がされていても、退院後は服薬管理について不安感をもったり、患者を取り巻く環境により服薬の継続が困難になる等の問題が生じる場合がある。確実に服薬が継続できるよう地域 DOTS が重要であるため、全ての登録患者を対象として保健師による定期的な訪問・面接等を行い、治療の必要な患者が確実な服薬ができるよう、医療機関と保健所が連携を図り、地域での服薬支援体制の充実を図る。

イ 事業内容

(ア) 訪問・電話連絡等で定期的に患者及び家族に服薬・受療状況の確認・支援を行った。

平成 27 年度

	DOTS 対象者 数	DOTS 実施数	内訳			
			訪問DOTS	郵送DOTS	来所DOTS	連絡DOTS
実件数	19	19	13	14	3	1
延べ数		106	35	54	16	1

(イ) 医療機関での DOTS カンファレンスに参加し、服薬支援状況・結果等を報告した。

「訪問結果報告書」「面接報告書」を使用して、医療機関との情報共有を行った。

DOTSカンファレンス

平成 27 年度

開催場所	参加回数	対象者数
三重中央医療センター	7 回	10 名

* DOTS カンファレンス: 医療機関の医師、看護師、薬剤師や保健所の保健師等が通院後の確実な服薬支援方法について検討、協議する会議

ウ 結果

入院時の病棟訪問や退院後の早期家庭訪問により患者の生活状況を確認し、DOTS の方法については患者が主体的に取り組めるよう患者とともに決定した。

服薬確認することで、服薬継続について患者や家族、関係者への意識づけ・動機づけができた。

その結果、服薬を自己中断した患者はいなかった。

また、DOTS カンファレンスでは、患者の病状・生活状況・患者自身の療養態度・家族の協力状況などを情報共有することで、個々の患者・家族に応じた服薬支援を検討するのに非常に有効な機会であった。

II 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

232 結婚・妊娠・出産の支援

23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

三重県の「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」が平成27年度から施行されたことに伴い、各市が、妊娠・出産・育児における「地域の強みを生かした切れ目のない母子保健体制」を整備できるよう人材育成、関係機関調整等、体制整備の支援を行います。

1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市の母子保健事業の支援、広域的な母子保健施策の推進に努める。

(1) 保健指導事業

小児慢性特定疾病及び長期療養児等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながら QOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	3 件
相談延件数(面接・電話)	36 件

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施した。

電話相談延件数	8 件
---------	-----

(2) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」を推進していく中で、妊娠・出産・乳幼児期・思春期を通じて総合的に支援していくことを目的とした。

ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

小児慢性特定疾病児の新規・更新申請時に、医師からの訪問の指示があるケースを中心に家庭訪問を実施し、状況に応じて市保健師と同行訪問した。継続的なフォローをする中で、市の母子保健事業につなげる支援を行う。

イ 児童虐待予防ケア

	年月日	場 所	内 容	参加者
名張市要保護児童対策地域協議会	H27.5.13	名張市役所	要保護児童に対し、適切に支援できるように情報交換、協議を行った。	市担当者
	H27.6.24			市教育委員会
	H27.8.20			児童相談所
	H28.2.17			警察署
	H27.11.26	名張市武道交流館 いきいき多目的ホール	児童虐待予防研修会	保健所

ウ 思春期保健

性教育 目的:「伊賀地域里親の会」加入の親子に対し、性教育を行うことで“これから思春期を迎える子ども達”に、里親自身が果たす役割と責任の重要性について、更なる醸成を図る。

講師:児童相談センター及び保健所の保健師

開催回数等: 1 回 ・ 42 人参加

対象: 伊賀地域里親の会に加入している親子及び関係職員

エ 母子保健体制の整備

	年月日	場 所	内 容	参加者
連絡調整会議	H27.7.27	伊賀庁舎	管内母子保健担当者意見交換会	市保健師 市母子保健担当事務職員 県庁子育て支援課職員 保健所保健師
乳幼児健診委員会での情報交換	H27.6.11	伊賀医師会館	乳幼児健診の結果確認及び情報交換	小児科医師 産婦人科医師 市保健師 保健所保健師
	H27.10.22			
	H28.3.10			
	H27.4.3	名賀医師会館		
	H27.6.5			
	H27.8.7			
	H27.10.2			
H27.12.4				
H28.2.5				

(3) 小児慢性特定疾病の状況

小児慢性特定疾病医療費助成に基づき、患者家庭の医療費負担の軽減を図った。

平成 28 年 3 月 31 日現在

	計	悪性 新生 物	慢性 腎疾 患	慢性 呼吸 器疾 患	慢性 心疾 患	内分 泌疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 友 病 等 血 液 疾 患	神 經 ・ 筋 疾 患	慢性 消 化 器 疾 患
件数	143	20	12	6	32	43	2	7	1	4	8	8

2 母体保護事業

(1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

平成 27 年度

年齢 在胎週	総数	20歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳 以上	不詳
総数	168	13	32	34	33	39	16	1	0	0
満7週以前	100	4	18	21	17	26	14	0	0	0
8週～11週	63	8	13	12	15	12	2	1	0	0
12週～15週	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
16週～19週	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
20週～21週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 不妊手術届出数

届出件数 0件

～沿革～

年	月	日	概 要
S12	4	5	保健所法(法律 42 号)公布
S12	12	14	内務大臣より阿山、名賀両郡を管轄区域とする三重県伊賀上野保健所設置の件、認可される。
S13	8	25	阿山郡上野町大字上野字丸の内に庁舎建物(木造 2 階建 延 115 坪)竣工。敷地 321 坪(寄附 150 坪、無償貸与 171 坪) 同日付開所する旨告示(三重県告示第 668 号)。
S22	5		上野警察署から衛生関係業務(食品衛生、急性伝染病予防業務)移管(三重県告示第 222 号)。
S22	6		三重県上野保健所と改称(三重県告示第 248 号)
S22	9	5	保健所法全面改正(法律第 101 号、昭 23.1.1 施行)
S23	11	20	保健所の課制施行。総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置(庁訓第 550 号)。
S29	2	12	庁舎事務所(木造 2 階建 延 51 坪)竣工。
S35	8	15	次長制度施行(県規則第 65 号)。
S39	3	6	三重県上野庁舎に移転。
S39	5	6	名張市に上野保健所名張相談所開設。
S51	4	1	環境課設置。4 課 1 室となり衛生課を衛生指導課と改称。
H4	4	6	上野市四十九町に移転。
H5	4	1	保健婦室を保健指導課と改称。
H9	4	1	保健予防課・保健指導課を廃止し、企画調整課・地域保健課を設置。
H10	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・保健所、福祉事務所、児童相談所を統合し、伊賀県民局保健福祉部を設置。 これに伴いグループ制の実施。企画総務グループ、健康増進グループ、福祉保健グループ、児童グループ、衛生・検査グループを置く。
H13	4	1	・企画総務グループを、総務グループ、企画グループに分割。 ・衛生・検査グループを衛生指導グループに改称。
H14	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・チーム制の導入、保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームの設置。 これに伴い保健衛生チームに計画調整グループ、健康増進グループ、衛生指導グループ、福祉相談チームに経営支援グループ、生活支援グループを置く。
H15	4	1	経営支援グループと計画調整グループを統合し、福祉相談チームに経営企画グループを置く。
H16	4	1	室制を導入。保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームをそれぞれ、保健衛生室、福祉相談室、児童家庭室に改称。
H17	4	1	・児童相談所の分離・独立に伴い、児童家庭室を廃止。 ・福祉相談室を企画福祉室、経営企画グループを企画市町村支援グループ、生活支援グループを福祉グループに改称。
H18	4	1	・機構改革による県民局制廃止に伴い、伊賀保健福祉事務所を設置。 ・上野保健所を伊賀保健所に改称。 ・市町村合併に伴い、伊賀福祉事務所を廃止。 ・企画福祉室を廃止し、課制導入。保健衛生室、企画福祉課、健康増進課、衛生指導課の 1 室 4 課体制となる。
H25	4	1	・機構改革により伊賀保健福祉事務所を廃止し、伊賀保健所を設置。 ・企画福祉課を総務企画課に改称。



保健所年報

平成28年11月発行

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町2802番地
電話番号 0595-24-8070(代表)
ファックス番号 0595-24-8085

R100
古紙配合率